

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：舞鶴市

プロジェクト名	赤れんがを活かした京都舞鶴港活性化プロジェクト	実施期間	平成23～26年度	テーマ	地域産業の育成	新規・継続の区分	継続
地域における現状、課題及び住民ニーズ	<p>平成23年11月には国土交通省から「日本海側拠点港（国際フェリー・国際RORO船、国際海上コンテナ、外航クルーズ）」に選定。25～26年度には大型客船の入港が決定されるなど、京都舞鶴港を中心とした地域活性化の動きは舞鶴市内にとどまらず中丹・丹後、京都市内までゲートウェイとしての必要性・重要性が高まっている中で、本年は京都舞鶴港築港100周年を迎える記念の年であり、更なる100年に向け大きくはばたききっかけづくりも必要となっている。（京都舞鶴港ランドブリッジ構想と連携、局の築港100周年事業と連携）</p> <p>また、明治から大正期にかけて旧日本海軍により整備された「赤れんが倉庫群」は、平成20年に国の重要文化財に指定され、本市が全国に誇れる貴重な近代化遺産であり、重要な観光資源である。（海の京都と連携：赤れんがパーク＝拠点施設）</p> <p>これら本市固有の「港」と「赤れんが」を核として、広域から人を呼び込むための観光戦略を基に、交流人口の獲得、地域経済の活性化を図るとともに、都市像として掲げる「東アジアに躍動する国際港湾・交流都市」の実現を目指す。</p>						
プロジェクトの目的及び概要	<p>港湾計画、「京都舞鶴港ランドブリッジ構想」と連携し、京都舞鶴港が日本海側拠点港に選定されたことを活かし、実船トライアルやコンテナ輸送ルートの開拓、クルーズ船の誘致など、港湾事務所の歩道橋設置と同調した整備など利用促進を一層加速させ、京都舞鶴港の振興と地域活性化を図る。また、重要な観光資源としている赤れんが倉庫群を、24年5月に「赤れんがパーク」として整備。より多くの交流人口を生み出すよう、駐車場やサインの整備（ハード整備）、タクシーのホスピタリティーアップ、周遊観光バスやジャズなどを活かした取組、市民活動により新たな文化創造・交流の場づくり（ソフト事業）など複合的に実施する。あわせて、24年1月に設立された「まいづる広域観光公社」を中心とする観光地域づくりプラットフォームによる着地型観光の推進（丹後圏域）、「金曜日はカレーの日」などの本市ならではの「海軍ゆかりの町」としてのブランディングに取り組み、幅広い圏域からの誘客を図る。</p>						
	総事業費（千円）	662,000	本年度事業費（千円）	346,128	交付金額（千円）	49,490	

プロジェクトを構成する事業の平成24年度事業実績（出来高数値等）

事業分類	事業名	事業種別	事業概要	主な実績（出来高数値等）
市町村 実施事業	京都舞鶴港を活用した人流拡大事業	交付対象事業	クルーズ客船の寄航誘致及びクルーズの実施	外国客船誘致に向けたプロモーション活動、京都舞鶴港発着のフェリークルーズへの支援、寄港地対応
	赤れんが施設整備事業	交付対象事業	赤れんがパークの関連施設整備	駐車場整備（用地取得、舗装）、案内サイン設置
	赤れんが観光事業	交付対象事業	周遊観光バス運行の支援、公衆無線インターネットサービス整備	周遊観光バスの運行補助（延べ6,261人利用）、無線インターネット接続環境整備（赤れんがパーク、市役所庁舎）
	観光産業振興事業	交付対象事業	観光地域づくりプラットフォーム、着地型観光、来訪者へのおもてなし機能の充実、海軍ゆかり誘客、金曜日はカレープロジェクト	観光案内所の運営（東・西舞鶴駅内）、地域資源を活かした着地型観光の開発支援、観光地域づくりプラットフォーム事業への支援、大都市圏へのプロモーション活動
	みなとのにぎわい創出事業	交付対象事業	国内貿易の拠点である舞鶴東港のウォーターフロント周辺整備、賑わい創出	京都府施工の（仮称）前島歩道橋周辺を一体的に整備
	京都舞鶴港日本海側拠点推進事業	関連事業	日本海側拠点港の機能目標の早期実現に向けたトライアル事業の実施	
	京都舞鶴港振興会等補助事業	関連事業	一般社団法人京都舞鶴港振興会の運営支援	
住民 協働 事業	赤れんが文化創造・交流事業	交付対象事業	赤れんがパークで行なわれる市民主体の賑わい創出活動への支援	イベント開催補助（3件）、市民活動サポート補助（5件）、賑わい創出事業
	対岸諸国との交流拡大事業	交付対象事業	市内企業の国際展示会出展に対する支援、国際交流員の設置、舞鶴港を玄関口とするインバウンド事業等	大連市（中国）との友好都市提携30周年記念事業、国際交流員（1名）の配置、外国語版パンフレットの作成

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：舞鶴市

成果指標	成果指標の目標数値	赤れんが倉庫群等の近代化遺産の活用数（平成26年度：8件）		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	5件
	成果指標の達成状況		（左の理由）	成果指標の目標年度に至っていないため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標	成果指標の目標数値	クルーズ客船の寄港回数（平成26年度：10回）		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	1回
	成果指標の達成状況		（左の理由）	成果指標の目標年度に至っていないため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標	成果指標の目標数値	京都舞鶴港発着クルーズ回数（平成26年度：6回）		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	3回
	成果指標の達成状況		（左の理由）	成果指標の目標年度に至っていないため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標	成果指標の目標数値	国際展示会への参加、経済ミッションの派遣（平成26年度：10回）		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	7回
	成果指標の達成状況		（左の理由）	成果指標の目標年度に至っていないため。今後、国レベルにおける対岸諸国（中国・韓国）との関係改善がなされれば、成果指標の達成は可能と考える。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標	成果指標の目標数値	コンテナ年間取扱量の充実（平成26年度：10,000TEU）		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	5902TEU
	成果指標の達成状況		（左の理由）	成果指標の目標年度に至っていないため。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）
成果指標	成果指標の目標数値	対岸諸国におけるプロモーションの活動（平成26年度：5回）		成果指標の実績値 （平成25年3月31日時点）	5回
	成果指標の達成状況		（左の理由）	日本海側拠点港の機能別目標の早期実現に向け、対岸諸国へのプロモーション活動を積極的に実施した。	
	成果指標の実績値が更新できない場合は、その理由及び更新時期		（理由）		（時期）

みらい戦略一括交付金 プロジェクト自己評価調書（平成24年度分）

団体名：舞鶴市

<p>本年度の事業実績が 成果指標の達成に与え た効果</p> <p>未達成の場合も効果 を記載すること</p>	<p>成果指標の目標年度に至っていないため達成できていないが、目標達成に向け引き続き取組みを継続する。</p> <p>未達成の場合は、成果指標の達成に向けた今後の対応方針についても記載すること。</p>	
<p>本プロジェクトに 対する自己評価</p>	<p>関連事業との連携効果</p>	<p>府・市・京都舞鶴港振興会等の関係者がハード・ソフト両面から一体的に推進することで、取組みを着実に進めることができた。</p>
	<p>府と市町村等との連携に資する成果</p>	<p>みなとへのアクセス向上と賑わいづくりとして、府と市が共同で前島埠頭の整備に取り組むことができた。</p>
	<p>リーディング・モデル成果</p>	<p>赤れんがパークの観光戦略拠点化を進めることで、舞鶴のブランド力を強化することができた。</p>
	<p>広域的波及成果</p>	<p>京都舞鶴港を関西経済圏における日本海側の人流・物流拠点とするため、定期航路の増便などに積極的に取り組んだ。</p>
	<p>その他の成果</p>	<p>平成26年度までに予定されている京都縦貫自動車道や舞鶴若狭自動車道の開通、京都舞鶴港の埠頭整備などの陸路・海路の充実を見据え、市の観光ブランドである「赤れんが」と「海・港」の魅力を引き続き効果的に発信していく。</p>

（記載要領）

- 1 プロジェクトごとに本様式を作成し、評価すること。
- 2 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 3 事業種別については、交付対象事業又は関連事業の別を記載すること。
- 4 成果指標の達成状況は、目標数値を上回ったときは、目標数値の近似値であるときは、目標数値を下回ったときは、判断できないときは を記載すること。